

第4回議会報告会開催結果

開催日程

開催日	説明班	会場	所在地	参加者数
平成26年11月17日(月)	第1班	嬉野生涯学習センター	嬉野町	15人
	第2班	橋西地区市民センター	川井町	23人
	第3班	松尾地区市民センター	丹生寺町	14人
	第4班	松ヶ崎地区市民センター	松崎浦町	17人
平成26年11月18日(火)	第1班	豊地農構センター	嬉野下之庄町	17人
	第2班	神戸地区市民センター	垣鼻町	16人
	第3班	朝見地区市民センター	大宮田町	22人
	第4班	大石地区市民センター	小片野町	33人
平成26年11月20日(木)	第1班	有間野集会所	飯南町有間野	18人
	第2班	小野江コミュニティセンター	小野江町	24人
	第3班	漕代地区市民センター	早馬瀬町	29人
	第4班	飯高総合開発センター	飯高町七日市	34人

議員の班構成

1班	○今井 一久	松岡 恒雄	中村 良子	田中 祐治	山本 節	野口 正	松田 千代
2班	○西村 友志	沖 和哉	植松 泰之	永作 邦夫	松田 俊助	中島 清晴	久松 倫生
3班	○大久保陽一	深田 龍	中瀬古初美	山本 芳敬	濱口 高志	海住 恒幸	前川 幸敏
4班	○川口 保	坂口 秀夫	堀端 脩	野呂 一男	大平 勇	田中 力	水谷 晴夫

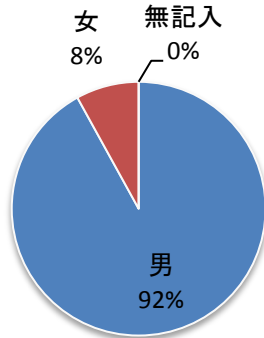
○は各班の代表者

第4回議会報告会アンケートから

○回答者総数:212人 (回収率80.9%)
○配付人数:262人 (平均21.8人/会場)

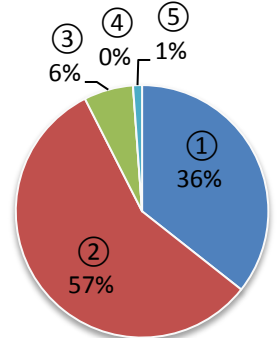
■性別

性別	人数(人)
男	195
女	17
無記入	0
合計	212



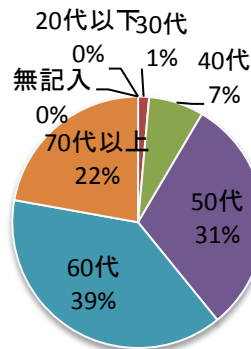
■報告内容について

設問	人数(人)
①よくわかった	49
②ある程度わかった	118
③あまりわからなかった	31
④全くわからなかった	0
⑤無記入	15
合計	213



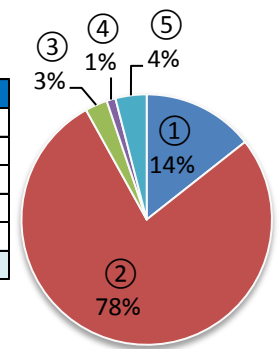
■年齢

年齢	人数(人)
20代以下	0
30代	3
40代	15
50代	65
60代	82
70代以上	47
無記入	0
合計	212



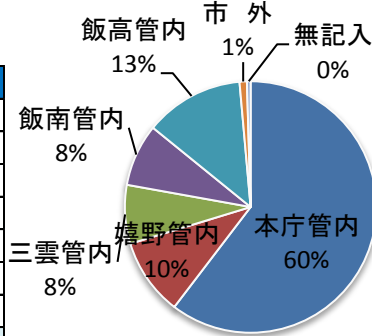
■説明時間について

設問	人数(人)
①長かった	29
②ちょうど良かった	155
③短かった	10
④その他	6
⑤無記入	12
合計	212



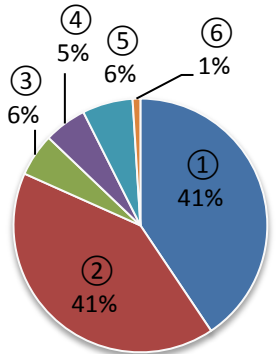
■住所

住所	人数(人)
本庁管内	128
嬉野管内	21
三雲管内	16
飯南管内	17
飯高管内	27
市外	2
無記入	1
合計	212



■周知について

設問	人数(人)
①チラシ、回覧版	102
②広報まつさか、市議会だより	74
③市議会ホームページ	14
④ケーブルテレビ	1
⑤その他	27
⑥無記入	11
合計	229



意見・感想

「ライオン像～疑問」委員から意見があった、とそれからは？執行部の回答は？委員会の審議内容もHPで閲覧できるようにならないか。

有意義な機会でした。また、開会してください、期待しています。

初めて参加したが、日頃から市議会に対し市民の暮らしに直結するものであるから、興味を持つことは大切と思っていた。なかなか全体を把握するのはむずかしかったが、参加することも大事かと思ひ足を運んだ。ありがとうございました。

人権啓発関連4事業について、これまで何故問題にならなかったのか明らかにしてほしい。

意見・感想

参加者が少なかった。もっとPRが必要なのでは。説明はよく分かった。分かりやすかった。

市議会議員はいつもえらそうにしているが、今日は低姿勢でした。これが本当だと思う。報告会はこれからも開かれていくと思うが非常によいことだ。

報告書を読むなら、プリントで配ってほしい。

良かったです。

説明が少し早口であった。議会の要望として、地域の実情を把握し、議会、行政のかけ離れた議案はなるべく避けるようお願いしたい。

質問時間、1人がすごく長い。

ありがとうございました。大変勉強になりました。

幅広い場にしてほしい。

まとめるのに大変だと思いました。ご苦労様でした。

初めて議会報告会に出席したが、議員の皆さんがこんなに詳しく種々の市民の要望等に関わっていることに感謝をしたいと思います。これからは、もっと報告会に出席して市政について勉強したいと思いますので市の方でこの様な報告会を継続してほしいです。

参加者が少なかった。前もって自治会に呼びかけて何名かの参加をお願いした方が良いのではないかと？住宅使用料の収入と未収金の割合を見て驚いた。未収金の徴収にもっと力を入れてほしいです。

今後続けられたい。ご苦労様でした。

印刷物や冊子の発行が多く、利用やうまみなさんに見てもらえる様にするには。市への要望が、やってもらえるが期日の返答があいまいなのです。

地元選出の議員の参加は？

市議の皆さんはご苦労様ですが、有意義な会だと思いますので、今後とも継続してほしい

普段接してないので、面白かった。歳出の具体的な説明がほしい。もう少し詳しく知りたかった

地元選出の議員を入れたら。

これからも頑張ってください。

地域にとっても議会にとってもある程度意味のある報告会と理解した。地域としては、このような機会を設けていただくことを期待する。

報告会だけの報告。地域に余り関係が少ない。意見交換→非常に良かった。

議員さんの活動の内容がよくわかった。

早口でサーっと言われたのでわかりづらかった。下水道の宅内配管をもっと積極的にすすめてほしい。

松阪市のビジョンや如何。市会議員の出席する市議会をテレビでみています。頑張ってください。質問等議員さんの状況をみています。

聞く人の立場での説明をしていない。これでは意味のない報告会である。

意見・感想

8月9日台風11号被害についても議会で上らなかったようですし、又災害現場の視察もなかったようですが、現在まだ復旧中ではありますが、山の中でも土石流となって谷がうまっております。その奥の大きなくずれもまだ点検されておられません。今後の豪雨で池山といった水源の事についてもっと関心をもってほしい。

- ・資料を読むだけで本当の意味で説明がないように思う。
- ・議員（担当の）の方自身の理解が低いのかな？

- ・市民まちづくり基本条例の制定を進めてほしい。

限られた時間での説明のため仕方がありませんが、専門用語や事業の背景などが理解しづらかった。

パワーポイントの資料が大変わかりやすく非常に参考になった。意見・質問が少なかったのは、少し残念です。

- ・参加人数が過少すぎる。
- ・事前のPR不足。
- ・いかにも役所仕事の？

特になし（理解できない部分がある）。

防災報送が聞こえない地区があるのでお願いします。

良かったです。勉強になりました。先週松阪に越してきました。

PFI説明不足。手法説明。

- ・PFI、RDFという略語の説明は本文中にあるが、説明時にその言葉でくり返されても、なかなか理解に苦しむ。略語はさけた方が好ましいと思う。加えて、本文全体に亘って感じたのが、難解な熟語での表現が多様されていることに親切さが垣間見れない。もっと安易な表現で表すことはできないものかと思う。
- ・話し言葉があまりにも棒読状態で、努力したこと、取り組んできた実績の伝わりにくさを感じる。今後もしこういったことであれば、ただのガス抜きの1つとしか思えないのは悲しい。
- ・もう少し深く入り込んでもらいたいと思った。

特になし。

- ①大変有意義な報告会でありありがとうございました。
- ②質疑応答での答弁が長すぎて分かりにくく的がしぼられていない？と感じられた。
- ③具体的例をあげて話してもらえばピンとくるのでは。

市議会議員の方々、松阪市のためにがんばって下さい。よろしくおねがいします。

市会議員の人数が10人多いと思う。子供の数が少ないのに、射和地区が多気の学校へ行っているのか。

定期的な報告会の開催を希望します。

報告される内容をスライドを説明するように話し言葉でわかりやすく、報告してほしい。

まちづくり基本条例を早期に成立させて下さい。

意見・感想

会社勤めも定年退職し、今回この様な議会報告会に参加させていただきましたが、市政に対してあまり関心を持っていなかったのが申し訳なく思う程、報告会については満足しました。今後は時間の許す限り参加させていただきます。一件だけ裏面に要望を記載しました。

<要望>

防災について啓発活動については報告をいただいたが、昨今のゲリラ豪雨による土砂災害に対する対策等を報告していただきたかった(広島 of 災害を見ると)。平地でなく山間部における防災について安心できる地域作りに努力していただきたい。

- ・この報告会は、大変重要で有意義と感じました。
- ・ただし、その内容については、難しいと思いました。市民の理解が得られる努力を図られたい。

初めてなので、あまりわからなかった。わからない言葉があった。

今回始めて出席したが、今後何回もやるべきだ。

議員さんの声だけの様に思う。議会報告会もいいけど、地域の意見も聞いてもらえる場がほしい。もっと時間がほしい。

議決審議内容の説明であるが、決算事業の内容も説明した方が伝わりやすいのでは。

住宅使用料、適切な処理？カード使えるのはいいです。ここに来ていなければ知らなかった。長井さんの話はよくわかった。

文章で読むのではなく、報告会で聞くとどんなことが、問題としているのかよくわかった。

意見交換の時間が短かった。もっと意見は出たと思う。時間で切っては意見は出ません。

メモを読んでもらうだけで、資料が不足している。

初めて参加したが、当報告は定着していけば良いなと思った。

読み上げのみの報告なら、前もって配布をしておいてはどうか？もっと気を入れてやってくれ。

ありがとうございました。わかるようで、理解できませんでした。

住民協議会について、小野江まちづくりは他と違って防災、減災を中心に取り組み住民一体となって取り組んでいる。

住民協議会と自治会との関係について、実際問題として言われたような事は当然納得できる事です。それが言われて初めて分かりました。役員の方は自治会への未加入で見捨てることもできない気持ちもあり、責任もあり、地元の方を思っている意見だと思います。自分の住んでいる自治会の役員の方はそのような事まで考えてもらっていないような事を考えてしまいました。

定期的にこのような報告会を続けて欲しい。

議会報告会の内容を事前に渡して欲しかった。よろしく。

どういったことで可決されたか、否決されたか、詳しく簡単に説明してほしい。

特になし

資料よく分かりました。

仕事上報告会を知った。

質問者の意見が有りましたが、議会報告よりも今後の参考にして欲しいものです。

意見・感想

何の意味もない。公報で分かる。

議会報告で済ますなら、もったいない。内容のレベルアップをして下さい。

決算の説明でなく、各々の地域の課題や問題点を把握して身近な課題を取り上げてほしい。皆が関心のあることを最っ取り上げてほしい。議会人が考える集団的自衛権の問題など。

特に、専門用語が出ることから、内容が一般の方には難しいと思った。

的確な説明であった事、各先生方大変ありがとうございました。百年のケイを持って取り組んでいただきます事お願いします。

地域にまわってお話をきかせていただいてよかった。

議会報告会も第4回を迎え充実した会になってきたと思います。

進行役、説明役とよく分担されていて、スムーズに進められていたように思いますが、質問者の独演ぶりに少し不快でした。PFI…理解不十分。いろいろな事業に対して、そのもとで地道に動いてきた人の意見を十分に聞いて、企業の人をもっとよく勉強した上で考えて欲しい。市側の人、もちろん市議さんももっと考えて、建物を建てたらそれに納まるという安易な考えはどうかと思う。また、三井さんからのライオン像も思いつきで飛びつくものでなく、三井さんに対して失礼のないよう、また市民に対してもただ騒いで楽しんで、なんてことばかりでなく。子どものいじめ…大人がもっと大人になって子どもの手本になることも大切だと思います。

何事も今楽しい今これで良いということばかりでなく、多くの人の声を聞き、賢明な判断の基、物事にあたってくださる方が中心にいてくださることを願っています。（今不安です）

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月17日(月)午後7時00分～8時37分	
開催場所	嬉野生涯学習センター	
出席議員	今井一久、松岡恒雄、中村良子、田中祐治、山本節、野口正、松田千代	
	司会進行者	中村良子
	報告者	今井一久、松岡恒雄、山本節、野口正
	記録者	松岡恒雄
参加人数	15名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第1班

代表者 今井一久 印

【主な質疑応答・意見等】

問 平成 25 年度の決算審議について、遅いのではないかと。

答 11 月に決算審議していた時もあったが、現在では財政健全化法に 9 月までに決算を終了すると明記されている。出納閉鎖の予算執行終了が 5 月 31 日であり、監査がスタートし短期間で決算される仕組みであり、ご理解をいただきたい。

問 人事評価制度について、一般企業と比較し遅れているのではないかと。

答 松阪市の人事評価制度は、人材育成型の制度である。市民病院を除く職員が対象であり、直接昇給に結びつく民間の評価とは少し異なったものである。昇給等への活用は今後の課題である。

問 PFI の活用について、行政職員との関係はどのようになっているのか。

答 PFI いわゆる総合評価方式であり、職員のみでは対応出来ないということもあり、アドバイザー契約を採用したという経緯があった。

問 防災啓発事業の海拔表示板について、一度に実施した方が良いと考えるが、どうか。

答 委員会で同様の話が出たが、予算のこともあり、年次計画に沿って実施していく。

問 住民協議会を今後どうしていくのか。住民協議会と議会の関係が良くないのか。

答 市民の定義、外国人の位置付け等市民から不安であるとのことご意見も承知している。「議会からの発議ではなく執行部から条例を提出すべきである」との打開の問題を協議したが、いまのところ進展もなく市長も出す予定がなく膠着状態である。議会と住民協議会の関係は良好であり、解決策としての条例の提出を望まれているが住民協議会役員会でも要望してほしい。

問 図書館の今後について、どのように考えているのか。

答 11/18 議会運営委員会があり、図書館改革について市長から提案がある予定である。どのような全員協議会を行うのか重要であり、大府市図書館、PFI 手法、指定管理者等の議論を今後どのように高めていけるのか、議会の考え方、そして認識を一致させて詰めていくことが大事となってくる。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 11 月 17 日（月）午後 7 時 00 分～8 時 29 分	
開催場所	橋西地区市民センター	
出席議員	西村友志、久松倫生、松田俊助、中島清晴、永作邦夫、植松泰之、 沖和哉	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	永作邦夫、植松泰之
	記録者	沖和哉
参加人数	23 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 26 年 11 月 26 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 2 班

代表者 西村友志

【主な質疑応答・意見等】

問 住宅事業の収入未収金について、長年滞納が続いても強制退去とはならないのか。

答 現状ではない。収納率をあげるための施策をとっている。

意見 甘すぎる。民間では考えられない。もっと実情に合わせた対応をするべきだ。

問 図書館改革について、三重県知事も武雄市に視察に行くなど話題に上がっているが、中日新聞記事に「市民を巻き込んだ図書館改革を検討すべき」というのを読んだ。現在の指定管理者制度における仕様書での問題は無いのか。PFI 方式ありきでの改革推進は間違っていると思うが、どのように考えるのか。

答 意見は受け止める。議会としても PFI ありきで進められている状況と判断したため、9月定例会では部分的に修正して該当事案については認めない対応をした。

問 ポケットパークについて、官地に民間企業のライオン像を置くのは疑問というのは、個人の意見なのか、議会としての意思なのか。

答 執行部が土地購入についての費用を上程した段階。質疑の中で、その土地の使い道に対する一議員の意見であり、議会の総意ではない。

問 人権教育で、いじめや不登校は本当になくなると考えているのか。昭憲皇太后（明治天皇の皇后陛下）のご活動についての学習をすべきではないか。

答 意見としてお伺いさせていただく。

問 松阪市議会での反問権について、市独自のものなのか。

答 松阪市議会基本条例を定めた2年前の時点では、市単位では松阪市のみ。

問 松阪市議会基本条例第11条で、『会期を定めることとする』とあるが、通年開催の可能性は。

答 議会運営委員会等の各種委員会や議会報告会資料作成者会議等、さまざまな裏方での公務がある。現段階でもほぼ通年とも言える状況であると考えている。

問 全国学力テストにおいて、小学校は最下位。中学校は30位台と聞く。三雲中学や今年度増えた2校も含めたITC活用授業との兼ね合いや効果はあるのか疑問だ。

答 意見として受け止める。議会としてはお答えを控えさせていただく。

問 定住自立圏構想について、今後すすめていく意思はあるのか。

答 RDF 離脱が決定したこととの兼ね合いもあり、前進する可能性はあると考える。

問 平成 27 年度の市の財政状況は非常に厳しいはず。固定資産税の評価替え年度や、パナソニック撤退、介護事業費用の拡大など、減収・支出増が予想されるが、今後の市政運営は大丈夫か。新たな企業誘致もない状況で心配される。

答 市の借金はできる限り圧縮している状況だが、今後より一層の精査が求められる。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月17日（月） 午後7時00分～8時52分		
開催場所	松尾地区市民センター		
出席議員	大久保陽一、前川幸敏、海住恒幸、山本芳弘、濱口高志、中世古初美、深田龍		
	司会進行者	海住恒幸	
	報告者	山本芳弘、濱口高志、前川幸敏、中世古初美、深田龍	
	記録者	深田龍	
参加人数	14名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第3班

代表者 大久保陽一

【主な質疑応答・意見等】

問 松阪市クリーンセンターができることによって、業者の車両・一般車両・個人車両等、交通アクセスの問題がでるのでは。交通安全対策が必要だと考える。

その中で道路への外側線が消えていると危ないと考える。交通弱者を救うという意味で常に光っていることが望ましい。皆さまのご支援を頂きたい。

答 11月19日に松阪市クリーンセンターの進捗状況や現状を知る予定となっている。道路や交通安全についてもしっかりと議会からも言っていかなければいけないことだと考えている。

問 防災対策について、インターネットで津波の浸水予測地図を見ることはできるのか？また、スマホ等とリアルタイムで繋げないのか？

答 マグニチュード8規模の地震による津波があった場合、堤防があるのとなので浸水地域の違いがわかる地図はある。

問 津波が起こった時にリアルタイムで見られるものはないのか？

答 現状はない。

問 人権事業が継続されて、業者を変えて事業をやり続けるのか？

答 すべての事業が同じNPO団体に委託されていたことや事業成果を問題としており、事業自体の問題はない。

問 図書館改革は中止になったのか？

答 議会は図書館をより良くしていくことについては反対していない。

民間資金や技術を活用していくPFIという手法について、建設施行費12億円くらい、運営費で2億円くらいの経費がかかる。15年間で40億円以上のお金がかかるため、その手法でいくことに議会からは「待った」をかけている状態である。

問 救急車で病院へ行かないと病院は患者を受けてくれない。病院の前に車で行っても、救急車でなぜ来なかったかと言われる。実際、病院の前で救急車に乗り換えた。

答 今は適正に救急車を利用するという意味から救急ダイヤル24時というものができた。医者が少ない現状があり、ご理解賜りたいと思っているが、これからも取り上げていくべき課題である。

意見 それは分かっているので、そこから先を追及して欲しい。

問 電柱に街灯をつけるにしても今までは市のほうで対応頂いていた。住民協議会にお金を渡し、やるべきことを住民協議会に振り変えてきているのではないか。

答 防犯灯については、自治会から要望をあげて当初は市のほうで対応していた。平成24年度から住民協議会への予算措置がされていて、下請けではなく、お互いの役割の違いがあるということをご理解いただきたい。各住民協議会に割り振られた予算の中でさらに予算化していただく中で地域のことは地域が一番よくわかっている方々に考えていただくことをお願いしたい。

問 土木やいろいろな事業計画を地域に割り振ることはないのか？

答 はい、ありません。

問 敬老事業についても、以前は市でやっていただいていたが、どうか。

答 松阪市内には色々な地域があり、三雲や嬉野や飯南・飯高は町単位で敬老事業をやっていた。地域に応じて敬老事業はやり方が違うので、敬老事業についても各地域でやっていただくようにしている。

意見 もっと地域でできるものは地域でさせて欲しい。地域でできることは地域でやるのが一番良いと考える。

意見 防災について、防災士1名を地域で育てた。

住民協議会から出動要請することもある。消防・水防団員は市・県から認定を受けて身分保障がある。防災士は市からの推奨でやったが、その後の保障がない。市からも「身分保障はない」と言われている。制服の支給もない。住民協議会で費用をもたなくてはいけないのか。消防団員なみの身分保障をお願いしたい。

問 議会報告会について、他の地域でもこのような参加人数なのか

答 25年4月301名 11月295名 26年4月219名となっている。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月17日(月) 午後7時00分～8時36分	
開催場所	松ヶ崎地区市民センター	
出席議員	川口保、坂口秀夫、堀端脩、野呂一男、大平勇、田中力、水谷晴夫	
	司会進行者	川口保
	報告者	坂口秀夫
	記録者	野呂一男
参加人数	17名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第4班

代表者 川口保

【主な質疑応答・意見等】

問 まちづくり基本条例について、市民の定義があいまいなため定例会で2度も否決された。議会側から行政にどのようなかたちで出すようにといった提案はなかったのか。

答 2度目の提案では、松阪市民といった定義があいまいであって、松阪市民という人と、松阪市内に住んでいる人が常識になっていると思うが、提案された「市民」は、市内に住んでいる人、市内に勤務している人、用があって松阪市にみえた人も入っている。議会から説明責任が果たせる範囲内に限定していくといった意見がでた。

問 農業水産費の松阪牛の定義で、松阪で育てられている牛はわずかで、明和、多気、宮川といった市外の牛がほとんどである。旧の定義ではいけないのか。

答 新しい規格では議会報告書をみていただいたように、宮川から雲出川までの間で育てられたもので、「旧22市町村で育てられた」という項目が新たに入った。

問 地方創生について、松阪市も地方創生が大切になってくると思う。議会として松阪市をどのようにしていくのか、地方創生について意見を聞きたい。

答 地方創生については内閣府で話しを聞かせていただいた。詳細に決まっていないうが、東京からでなく地方から活力をつけていくという方法を国は推奨している。少子高齢化が進んでいるので難しいところもあるが、地域の中にある資源をいかに見つけ、それを磨いて、どのように売っていくかということを考えていくことが大事である。

問 東京などで、徳島県が「阿波踊り」をテレビで宣伝しているのを見たが、松阪市もこのようなことをしてはどうか。

答 地方でもいろいろな取り組みをしている。里山資本主義といって、何でもない里山を外に発信して、いかにお金に変えていこうかという取り組みもある。里海という言葉もあり、いかに地域の海を活かしていくかという取り組みも大事だと思う。

問 松阪地区は櫛田川と三渡川との間に二級河川が5本ある。その河川の河床に1mから1.5m程土砂が積もっているので、現在の堤防の高さでは津波がくると氾濫するので川床の土砂撤去をしてほしい。

答 津波も心配であるが、台風やゲリラ豪雨が発生すると氾濫するおそれのある地域が多くある。河川は県の管轄になるが、市からも声をあげていく必要がある。

堆積土砂の撤去には土砂の捨て場が必要なので、地域の中でも検討していただきたい。

また、河川にはたくさんの木も生えていて、大水のとき引き抜けて橋桁につまる心配もある。三重県全体の河川において土砂が堆積しており、撤去には多額のお金もかかる。阪内川も川上から順次土砂撤去が行われている。多くの意見を集めて市、県に要望していくことは大事で、議員もできるだけの協力をしていきたい。

意見 津波の避難場所として、松ヶ崎小学校に外階段及び屋上のフェンスが完成した。またその他マームの屋上やアピタの屋上も避難場所として啓発している。ただ長期の避難場所として、どこかの場所を選定して、遠慮せずに入れる場所を防災マップに入れていただくことをお願いしたい。

意見（議員） 鉄骨で避難タワーを造っている地域も多いが、要援護者が増えてくる中で、数多い避難ビルにたどり着くまでの時間や、要援護者の支援などの課題などについて、自助・共助の輪の必要性について声を大きくして行ってほしい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 11 月 18 日（火）午後 7 時 00 分～8 時 16 分	
開催場所	豊地農構センター	
出席議員	今井一久、松岡恒雄、中村良子、田中祐治、山本節、野口正、松田千代	
	司会進行者	松田千代
	報告者	今井一久、松田千代、中村良子、田中祐治
	記録者	松岡恒雄
参加人数	17 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 26 年 11 月 26 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 今井一久 印

【主な質疑応答・意見等】

問 まちづくり基本条例について、何がどのようになり否決されたのか具体的に説明してほしい。

答 2度否決された理由として、①市民の定義の問題が明瞭でないこと ②住民投票条例の外国人投票権の有無 以上の2点について、反対意見多数により否決された。住民協議会の皆さまより条例制定のご要望をいただいております、議会としては、市に住民協議会条例を作るべきとの決議を行っている。

問 市議会は、なぜ住民協議会に対して反対しているのか。

答 市議会、また議員個人としても住民協議会の活動に対して反対はしていない。まちづくり基本条例について、先程の2つの点で反対した経緯があり、市民の皆さまに誤解が生じたようである。議会として市民の皆さまにキチンとお知らせ出来ていないと受け止め反省している。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月18日（火）午後7時00分～7時56分	
開催場所	神戸地区市民センター	
出席議員	松田俊助・西村友志・久松倫生・永作邦夫・中島清晴・植松泰之 沖和哉	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	永作邦夫・植松泰之
	記録者	植松泰之
参加人数	16名	
主な質疑応答 意見・要望等	なし。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第2班

代表者 西村友志

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月18日(火)午後7時00分～8時48分	
開催場所	朝見地区市民センター	
出席議員	大久保陽一、深田龍、中瀬古初美、山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、前川幸敏	
	司会進行者	山本芳敬
	報告者	山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、前川幸敏、深田龍 中瀬古初美
	記録者	中瀬古初美
参加人数	22名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第3班

代表者 大久保陽一

【主な質疑応答・意見等】

問 人事評価制度構築事業費について、職員人材育成、資質向上のためという
が、上司が採点し、給与に反映させるのは民間企業では一般的なことに思う
がどのように使われるのか。

答 副市長が就任時に、双方向の人事評価をしていきたいということから始ま
ってきたもの。昇給や賞与アップは今後検討していく。

問 住宅使用料について、収金と未収金の額が来年度は入れ替わるのではない
か。民間アパートではあり得ないと思う。住宅の維持管理費がかかるはずだ
が、間接的経費はいくらかかっているのか。

答 管理運営事業費 約2,500万円であり、その中に間接的経費が入っている。
未収金の金額推移は、単年度ではなく累計である。

問 人権啓発4事業は一掃されたのか。

答 一掃されたのは、特定の団体との随意契約がなくなったということ。平成
26年度も冊子は作成している。

問 海拔表示板については、地元の人にはわかっている。それより、避難所への
案内表示の方が有効と思うが、その表示を多くした方がよいのでないか。

答 土地勘のない人には、海拔表示板は有効である。避難所への案内表示板は
意見としていただく。

意見 案内表示について、東西南北の表記は地元以外の人にはわかりにくい。
矢印のほうがわかりやすいのではないかと思う。

問 櫛田から水をもらっているが、冬場も環境用水として流してほしいと要望
している。国や県は、市の協力が得られていないと言っているが、どうなっ
ているのか。

答 国の制度の水利権を改正するには厳しいハードルがある。それぞれの地域
がまとまって統一した意見で市、県、国へと要望しないといけないと思う。

問 駅西再開発事業の現在の状況は、どうなっているのか。

答 現在は白紙状態であり、議案には上がってきていない。

問 三井家跡地にはライオン像は来るが、出店の話は進んでいるのか。

答 三越伊勢丹ホールディングス大西社長が協定締結の後、市民の皆さんがこ

れほど望まれるのであれば、何らかの形で出店はしたいと話されたが、正式に決まったものではない。

問 P F I 方式とは、委託契約なのか請負契約になるのか。アドバイザー契約について、市職員ではできないのか。

答 今回の P F I は、分野によってリスク分担がされている。市の責任も残っている。専門性が高いため市職員でできるものではない。

問 P F I についての反対理由は、P F I そのものに反対なのか、含む事業だからか、分析評価がわからないうちには討議に入れないということか。

答 P F I 手法そのものを否定したものではない。

問 東部中学校管内では、小学校が 6 校だが、朝見では児童数 100 名切っている。いずれは統廃合となるだろうが、その基準はあるのか。

答 統廃合の基準は特にない。飯南では、4 校あった小学校が 2 校となったが、保護者から人数が多い方が切磋琢磨するのではないかとの意見で統合となった。

問 まちづくり基本条例について、市民の定義があいまいで却下されているが、自治会と住民協議会がどうタイアップしていくのか見えてこないのが問題ではないのか。

答 議会として、住民協議会の位置づけは、地域の担い手であると確固たるものとして確認しており、予算化については確保していく。

意見 氏郷祭りでは、議員も手作り甲冑を着て歩いてほしい。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月18日(火)午後7時00分～8時41分		
開催場所	大石地区市民センター		
出席議員	川口保、坂口秀夫、堀端脩、野呂一男、大平勇、田中力、水谷晴夫		
	司会進行者	川口保	
	報告者	坂口秀夫	
	記録者	堀端脩	
参加人数	33名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第4班

代表者 川口保

【主な質疑応答・意見等】

問 風車問題については色々聞いているが、3～4年前に色々問題が多い事で住んでいる者として署名集めもした。山中市長も一人でも反対があれば一切しないと言っていたが、最近また話が出てきている様だが、どうなのか。

答 大石、飯南の住民、関心持っている方が多い。

色々な業者入ってきているが、平成22年に市長として明言して以来、その後一切その様な話は来ていない。又、今後も住民の同意がなければ了解しないとしている。

問 松阪市の子ども子育て委員会の委員をしている。中学校区において、幼稚園や保育園など量的試算も行っており、過疎化によって大石幼稚園等が統合され、相当遠くまで通園、通学しなければならなくなることを心配している。しかし、今後も住みたい地域にしていくためにも、子ども・子育て新制度を弾力的に運用して頂きたいと考えるが、どうか。

答 子育て3法は、主に都会などにおける待機児童対策を中心に作られた制度であると思っており、松阪市の過疎地域において保育園や幼稚園をどうするかといった方針は、まだ聞いていない。また、小学校、中学校における少子化については、文部科学省において答申が出ると聞いているので、その点についても注目していく。

問 議会改革の状況についてお聞きしたい。

答 議会改革の一つとして、例えば、特別職の報酬や市職員の給与の引き下げなどについて議会内で審議しようとする、議会において報酬審議会を持つ必要性が生じる。しかし、議会には予算と執行権がないため、これらの審議をするには並大抵のエネルギーでは困難であり、現実的には、人事院勧告に基づく対応となった状況である。議会では、新たに広報広聴委員会を立ち上げたので、とりあえず今年1年は、議会改革の総仕上げをしたいと考えており、議会の広報広聴を充実することにより、開かれた議会を目指していく。

意見 県下でも松阪市議会はよく頑張っている。議会内部で色々進めていることについて、このような機会にお聞かせいただきたい。

問 幼稚園、小学校、中学校が生徒数の関係で閉めなければならないことになると、この地域の発展に繋がらない。合併が進むことで過疎が進むことになるとのでは困る。地域の事もっと考えて頂きたい。

答 なくなるのは寂しいことであるが、現実問題として、子どもたちに不便を

かけずに通学させるにはどうしたら良いのかということを考える必要があり、これらは行政が強制するものではなく、地域で話し合っただけで結論を出していただきたいと考える。我々も心して取り組んで行きたい。

問 市民まちづくり条例が2回も否決されたが何故なのか。我々の所もまちづくり協議会を立ち上げ3年目になるので、ぜひ歩み寄りをしていただき、条例制定をしていただきたいが、どうか。

答 昨日も同じ質問があった。住民の皆さんの思いを十分に理解しているが、市長は市民の定義について、そこに住む住民と松阪市に仕事で来ている方々や外国人も含めてすべてを市民と定義しており、議会としては、市民の定義が広すぎると考え、また、同じ時期に住民投票条例案も上程されたが、これら2つの条例において、市民の定義の整合性が取られておらず、否決した。その後も、議会の疑問に答えることなく、同じような条例案を上程してきたので、2度の否決となった。

本来行政側より事前の歩み寄りがあるべきで、正しい条例案に対しては議会としても是非制定したいと考えている。

問 将来の経済効率だけを考えて、中心部に住むように行政が押し進めていけば、我々の町を守ることはできない。子ども・子育て条例にしても、都市部を対象としたものである。中山間地は廃村になれと言うのか。

答 言われる事はよくわかる。仕事をつくり、若者を定着させ、一極集中にならないように、そしてどのようにすれば、中山間地を残していけるのかについて、議会としても地域の方と一緒に考えていかなければならないと思っている。現実の中で次の世代にどの様に繋いでいくのか、意識を高めて行く事が大事である。

この問題については、中山間地だけの問題ではなく、臨海地域や旧市街地の住宅密集地においても同じことが言える問題であり、今後の課題であると認識している。

問 日本全国、地方が大事といわれている。旧勢和村では薬草公園をつくる等色々な地域特性を生かした事業を行っている。この地域においても、地域事業を考えて支援していただきたいが、どうか。

答 言われるとおり地域再生は大切であり、今すぐに何かを行うことは難しいかもしれないが、準備だけはして行く必要があると考える。過疎で苦しんでいる地域に、若者がきてもらえるような施策を考えていかなければならないと考えている。

意見 松阪市としても、過疎化対策として、早め早めの施策を実施してもらい、もうまくいかなければ次の施策も考えることができるので、早めの対応をお願いしたい。

議会報告会報告書

開催日時	平成 26 年 11 月 20 日（木）午後 7 時 00 分～8 時 52 分	
開催場所	有間野集会所	
出席議員	今井一久、松岡恒雄、中村良子、田中祐治、山本節、野口正、松田千代	
	司会進行者	松田千代
	報告者	今井一久、松岡恒雄、山本節、野口正、
	記録者	松岡恒雄
参加人数	19 名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成 26 年 11 月 26 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 1 班

代表者 今井一久 ⑩

【主な質疑応答・意見等】

問 防災啓発事業の中で、国指定の避難所について、備蓄品の整備はどうなっているのか。

答 備蓄されている市指定の避難所は、小学校、市民センター等であり、自治会で自主的に備蓄している地域もある。現在有間野小学校は休校の為備蓄されておらず、市民センターも無いのは問題であり今後の課題としていきたい。

答 振興局から…備蓄は振興局、産業文化センター、中学校、小学校 2 校となっており、有間野、仁柿地区は休校扱いの為、避難指示時は振興局から届けることになっている。自主避難時については、各自用意となっている。

問 図書館改革の PFI そのものについて説明してほしい。

答 PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）とは、特定目的会社（SPC）を作り、公共施工等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方である。

問 まちづくり条例が、議会で反対された経緯について教えてほしい。

答 ①市民の定義の曖昧さ、②住民投票での外国人投票権の有無、以上の 2 点から反対意見が多く否決された。議会は、住民協議会条例は提出すべきものとして市長にボールを投げた形で、そのままとなっている。この問題についてどのようにするのか住民協議会連絡会の皆さまと協議をしていきたい。

意見 図書館改革について、本を読んでもらえる図書館改革なら結構だが、PFI は、どちらかの市の猿真似ではないか。借りやすい、勉強し易いようにすべく原点となる議論、検討をしていただきたい。

問 米、茶園等、山間部の農業の将来、今後についてどのように考えているのか。地域、飯南、飯高、有間野をよく知ってもらいたい。

答 認定農家以外の中山間地への対応を別途考えていく必要があり、高齢化を含めどのようにリンクさせ、どう維持していくのか、国の政策にも関係し大きな課題であり議会での議論の対象となっている。また農協とのタイアップ等を図り、学校給食の日本食への対応で地産地消を進めていきたい。

問 議会報告会の班編成について、地元議員を入れていただきたい。

答 班編成については、「クジ」にて決定しております。住民協議会等で地元議員との懇談会を持っている地域もあることから、ご参考にしていきたい。

意見 認定農家以外の米農業の方…獣害対策についてフェンス設置等効果もあ

り有難いと感じているが2～3年で効果が無くなる。処理も大変なため、猟友会に対する費用1頭1万円を2～3万円程度に引き上げ、害獣の絶対数を減少させてほしい。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月20日（木）午後7時00分～8時40分	
開催場所	小野江コミュニティセンター	
出席議員	西村友志、久松倫生、中島清晴、松田俊助、永作邦夫、植松泰之、沖和哉	
	司会進行者	松田俊助
	報告者	植松泰之、沖和哉
	記録者	中島清晴
参加人数	24名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会 第2班

代表者 西村友志

【主な質疑応答・意見等】

問 人権啓発事業、監査をすり抜けるシステムについて、議会としてどのような議論をし、対応をしてきたのか。真剣に取り組んでほしい。

答 26年度で、人権関連4事業は一掃され、現在は実施されていない。松同推という団体に業務委託されてきたものが、昨年度の議会での質疑で、受託団体の会計処理に報告されていないことが初めて発覚した。2号随契で丸投げされた事業が、議会にきちっと説明がされてこなかったのが10年くらい続いてきたものである。また、この団体はNPO法人であり、決算の報告がなくても成果物が出ていればいいというものであった。

問 図書館改革・PFI事業について、市にすべてを任せるのではなく、きちっと議論をして市民のための状況を作ってもらいたい。民間は利益を追求する。議会で議論をし、必要・不必要の判断をすべきである。

答 図書館改革についての根本的な説明もなく、おっしゃるとおり議論が不十分である。議会としてPFIについても認めたわけではない。今回、該当事業について削除した補正予算を通した。今後さらなる審議が必要という判断である。

意見 委託契約は市に管理責任があり、請負は受注業者の管理責任のはず。PFIのアドバイザー契約、管理的な要素も含めて、丸投げ的なことはおかしい。市には発注者責任があるのではないか。

問 ベルファームにどれだけの費用が投入されているのか。委託料の減額により地元の自治会に草刈りをしてほしいという話が出てきている。管理組合に話をしてからやってほしい。突然のことで反発が出ている。

答 突然に言われたわけではないと思うが、地域の協議会との調整があったかどうかも含め現状・経過など、事実関係を調査、確認して報告させていただく。

委託料は5000万円である。

問 決算認定について、全議員が反対したのか。

答 環境福祉分科会において委員長を除く6人が不認定としたものである。

問 舌にも雑菌が多いと聞く。虫歯対策だけではなく、口の中全体の健康を推進すべきだと考えるが、どうか。

答 「歯と口腔の健康づくり推進条例案」ということで趣旨は同様である。

問 水道・下水道料金の支払い方法について、クレジットカード決済にはポイントが付くので、口座振替より得なのか。

答 カードは経費もかかるし、利用状況等、個人の判断にお任せするしかないが、市としては収納率が上がると考え、利用を促進していくものである。

意見 住民協議会の性格、システムが判然としていない。立場があやふやなのにも関わらず予算がつく。似たような組織として、「自治会」があるが、任意団体であり、入会・脱退も自由である。災害共助などについても、自治会に入っていない世帯については、自治会としては関知しないことになる。逆に、住民協議会とは、自治会への加入の有無にかかわらず、すべて網羅し全住民を対象とする組織だと考えるが、現在は単なるイベント請負業になっている気がする。

生活に密接したごみ処理、交通安全対策などは自治会まかせになっているのが現状であり、住民協議会と自治会とのタイアップや、住み分け、立場の明確化が必要ではないか。両者の関係をどうするのか。定義づけなどを決めておいてほしい。

意見 小野江住民協議会の立場として、地域住民の総合レジャーや、福利厚生等を市から要請され、各種事業を実施している。防災だけではなく、減災対策倉庫の設置などの活動もしている。一概にイベント業者のように言われるのは困る。十把一からげに言ってもらってはやめてほしい。まちづくり協議会に対して、偏見を持っているから、条例案に対してもきちんと向き合えないのではないか。市長の意向に反するばかりではなく、真摯に向き合うべきである。

意見 競輪、RDF 事業については、議会で激論の上、改善の方向に進んで良かったと考えている。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月20日（木）午後7時00分～8時13分	
開催場所	漕代地区市民センター	
出席議員	大久保陽一、深田龍、中瀬古初美、山本芳敬、濱口高志、海住恒幸、前川幸敏	
	司会進行者	濱口高志
	報告者	山本芳敬、海住恒幸、中瀬古初美、大久保陽一 前川幸敏
	記録者	山本芳敬
参加人数	29名	
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり	

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月26日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第3班

代表者 大久保陽一

【主な質疑応答・意見等】

問 下蛸路町に計画されている大規模牛舎に対し、水源地の上流に排水が流れることから反対の署名をした。新聞では3万人の反対署名が集まったと報道されたが、議会としての現状の立ち位置はどうか、今後の進め方についてはどう考えているのか。

答 現状では、環境審議会は開催されていないので、県の許可判断まで行っていない。議会としては、昨年12月2日に近隣の3周辺自治会・1住民協議会より「大規模牛舎建設反対を求める要望書」が議長に出され、そのことを受け、12月9日に市長に対し地元周辺地区より強い反対の要望があったことを伝えた。市長からは、地元の意志を重く受け止め、県にも意見をしていく返事があった。

意見 松阪市としては、牛まつりなど松阪肉を奨励している。建設規模において良い、悪いとなるのか、公平、不公平にならないように、きちんと議会としても進むべき道をつくっていただきたい。

意見 議会報告会なので、執行部の審議内容の報告は理解するが魅力がない。

意見 各議員の活動、意見を聞きたい。漕代地域のためにどう動いたのかどう考えているかを聞きたい。

意見 報告は解りにくい言葉が非常に多く、市議会のことはわからない。

意見 いろいろな意見をする場があってもよいのではないかと思う。

議会報告会報告書

開催日時	平成26年11月20日（木）午後7時00分～8時27分		
開催場所	飯高総合開発センター		
出席議員	水谷晴夫、田中力、大平勇、川口保、野呂一男、堀端脩、坂口秀夫		
	司会進行者	川口保	
	報告者	坂口秀夫	
	記録者	大平勇	
参加人数	34名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 水谷晴夫様

平成26年11月25日

議会報告会実施要綱第8条の規定により提出します。

議会報告会第4班

代表者 川口保

【主な質疑応答・意見等】

問 三越の松阪進出について計画は進んでいるのか。

答 松阪は三井家発祥の地で縁があり、とりあえず出店すると聞いているが、時期、場所、規模等詳細については今後の話し合いになる。

問 飯高の簡易水道が統合されると、水道料金が今までより高くなると聞いているが、それは事実か。

答 平成 29 年に料金体制の一元化により料金は約 3 倍になるということは、以前から説明しているとおりである。

問 国道 166 号線 2 車線化の時期と、人身事故があった森のつきあたり付近の道路改良の見通しはどうか。

答 国道であります市はできるだけ早い時期に整備したいと考えているが、用地買収という難しい問題があり、用地買収が解決すれば見通しは明るいので、議会としても精いっぱい努力していくが、関係者の協力もお願いしたい。

問 住民協議会は発足当時、先進地で活力があったが高齢化が進み希薄になりつつある。また市からの多くの行事が住民協議会に移管されてきており、リーダーはいるが人材不足から若いマンパワー（事務員）が不足しているので、執行部から人材を支援してほしいが、どうか。

答 理解できるが悩みは市内全地域であり、中には知恵のある方もみえるので地域で検討するなど努力をしてほしい。今後の議会活動の参考にしたい。

問 現在、小・中学校を含め 4 校、間もなく飯高西中と東中学校が統合すると小学校 2 校の計 3 校になる。

香肌小学校は児童が少なく「いじめ」は無い良い学校であるが、無くなる要素があるので、市内自由校区で親の最大の悩みの種である不登校児童を受け入れことも可能であるが、どうか。

答 小規模学校については大石地区でも同じ悩みの発言があった。教育委員会では統合予定の中学校は校区外の受け入れ予定であるが、特に小学校では通学方法、通学経費等が課題となると考える。

参考であるが、児童数の最大規模は徳和小学校で 839 人、最少は香肌小学校で 24 人、中学校では最大は久保中で 700 人、最少は大江中学校で 31 人（1 年生 3 人）。